

日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

2013年(平成25年)

6/21 金

第19524号

日刊(土曜・日曜・祝日休刊)

昭和17年12月28日

第3種郵便物認可

シップ・オブ・ザ・イヤ― 2012

大島建造の90型BC

洋学海工 船舶学

日本船舶海洋工学会は20日、「シップ・オブ・ザ・イヤ―2012」に、大島造船所建造の9万重量型バルカー「SOYO(双洋)」を選定したと発表した。主機掃気ハイパスを利用した空気潤滑システムを世界で初めて

実船装備。船体の摩擦抵抗低減と二酸化炭素(CO₂)排出削減に成功した。大島造船所の建造船がシップ・オブ・ザ・イヤ―を受賞するのは初めて。

同船は、船底の気泡流を利用して船体と海水間

の摩擦抵抗を低減する空気潤滑システムを採用。船底への空気投入に多大なエネルギーを必要とした従来方式の技術課題を同システムが解決したほか、大宗貨物を輸送する喫水の深い大型外航船にも適用できる汎用性の高



選定された「SOYO(双洋)」。主機掃気を利用した空気潤滑システムの装備が評価された

い省エネ、二酸化炭素(CO₂)削減技術となっておりことが評価された。シップ・オブ・ザ・イヤ―2012には、大型貨物船部門3隻のほか、小型貨物船部門1隻、小型客船部門2隻、漁船・作業船部門1隻、特殊船部門1隻の計8隻が応

募。5月開催の予備委員会にて全8隻が本委員会に推薦され、17日に審査が行われ全候補作品から、まき優秀作品1点をシップ・オブ・ザ・イヤ―と選定。その後、部門選んだ。

予備審査委員会で術の獨創性・革新性と成度」が高く評価され、海洋資源調査船「白嶺